

JICAベトナム事務所 月報

第172号（2023年11月号）2023年11月30日発行

本月報に関するご意見、ご要望は
vt_oso_rep@jica.go.jpまでお送り下さい。

Website（日・越・英）：
<http://www.jica.go.jp/vietnam/vietnamese/index.html>

Facebook（越）：
<https://www.facebook.com/jicavietnam/>

発行：JICA ベトナム事務所広報班

目次

プロジェクト活動

- 「ホイアン旧市街町並み保存に係る青年海外協力隊フォローアップ協力」に係る第四回有識者派遣を実施 3
- 防災分野のプロジェクト紹介パンフレットが完成 4
- 「ベトナム企業経営者向け経営マネジメント研修」を実施 5
- 建設事業管理制度構築能力向上プロジェクト 第3回本邦研修の実施 6
- SATREPS プロジェクト「食と環境の安全・安心を実現するハイテク簡易オペレーション分析デバイスの開発と人材育成」のオープニングミーティングを実施 7
- 副大臣級・同候補者級幹部（National Leaders）対象の本邦研修を実施 8

イベント

- 「水文気象情報の防災への活用」に関するオープンセミナーを開催 9

「ホイアン旧市街町並み保存に係る青年海外協力隊フォローアップ協力」に係る第四回有識者派遣を実施



日越間意見交換会の様子

クアンナム省とホイアン市が行っている日本橋修復事業に対し、JICA は「ホイアン旧市街町並み保存に係る青年海外協力隊フォローアップ協力」を通じて有識者派遣による技術的な支援を行っています。今回は、2023年10月22日から25日に、東洋大学工学部建築学科篠崎正彦教授・博士、京都府教育庁指導部文化財保護課奈良裕美主査を派遣しました。有識者はこれまでの派遣を踏まえ、後世の修復時に

参考となるよう記録の残し方についての講義を通じた技術指導を行い、また、ホイアン市文化遺跡保存管理センター及びベトナムの有識者と今後の修復事業方針について日越間意見交換会を実施しました(50名以上が参加)。ベトナムの旧正月前の修復事業の完了を目指し、引き続き JICA は協力していきます。

ホイアン市文化遺跡保存管理センターのウェブサイトの記事は下記リンクです。

<https://hoianheritage.net/en.html>

防災分野のプロジェクト紹介パンフレットが完成

ベトナムでは日本と同じく、洪水や土砂災害等の自然災害が頻発しています。このため防災の取組は非常に重要であり、JICAも日本の技術・経験を活かして多くの協力プロジェクトを進めています。しかし、そうした協力を紹介する資料はこれまでほとんどありませんでした。

そこで農業農村開発省(MARD)堤防管理・防災局に派遣されている防災アドバイザーの鈴木高専門家が中心となり、事務所の防災担当・企業連携担当や関係する日本企業等が協力し、このたび日本語版・英語版・ベトナム語版のパンフレットを作成しました。

パンフレットでは、洪水予測を取り入れた防災情報システムの導入(無償資金協力)や、日本式の「砂防ダム」建設等の土砂災害対策(技術協力)等、最近の11件のプロジェクトを紹介しています。

事務所の受付横に設置したほか、事務所ウェブサイトにも掲載しています。ぜひご覧ください。

<https://www.jica.go.jp/.../others/pamphlet/pamphlet.html>

10月9～12日、ハロンで行われたASEAN防災閣僚級会合の会場で、防災展示会が開かれました。

JICAのブースにこのパンフレットも用意したところ、英語版だけで100部以上をお持ち帰りいただきました。ベトナムはもちろんのことASEAN各国の防災担当の閣僚級や職員にも効果的に発信でき、幸先良いお披露目となったと考えています。

これからもパンフレットを活用して発信し、防災分野の協力や連携を深めていきたいと思えます。



パンフレットを手にする菅野事務所長(左)と鈴木専門家(右)

「ベトナム企業経営者向け経営マネジメント研修」を実施



5 回目の研修

ベトナム中小企業振興・産業基盤強化プロジェクトは計画投資省企業開発庁(以下 AED)との共催で企業経営者向け経営マネジメント研修を6月より10月まで1回につき、2日間のプログラムとしてハノイ、ホーチミンで夫々2回、ダナン市で第5回(9月28日、29日)、ハイフォン市で最終回となる第6回(10月9日、10日)を開催し、360名の企業経営者の方々に参加頂きました。

この研修プログラムは、FIIS (FTU INNOVATION AND INCUBATION SPACE)の協力を得て行われ、FTUのレー・ティー・トゥー・ハー教授によるイノベーションを起こすための経営者のマインドセットの他、マイリンタクシーの元 CEO のチャン・バン・ヴィエット講師より「組織の変革」「イノベーションを生む組織」などの講義が

同研修には宿泊業・飲食品・製造業・ソフトウェア・飲食サービス業、小売り・物流など幅広い業種の経営者が参加し講師との質疑応答を通じて、どうすればイノベーションを起こし、ビジネスに繋がられるのか、その手法を学びました。

参加者からは「経営マインド変革の重要性を再認識した。」「自社の経営に早速取り入れる。」「更にビジネスモデルの創造について学びたい。」等の意見要望もありました。

研修を通じて経営者同士の連携も深まり、今後、経営者同士での情報や知識の共有などにより、企業経営者の経営能力の改善が更に進む事が期待されます。

建設事業管理制度構築能力向上プロジェクト 第3回本邦研修の実施

10月11～25日までの約2週間ベトナム国建設省職員11名を迎え、本邦研修を実施しました。

本プロジェクトではこれまでに、建設省職員の積算能力改善を目標とし、公共建設事業におけるコストマネジメントの一環として、建設作業の手間を数値化した歩掛のパイロット実態調査、実態調査要領の作成などの活動を実施してきました。

本研修では、国土交通省及びその関係機関における積算の概要、工事歩掛・間接費の算定方法、材料および労務単価の実態調査手法、積算データシステムの開発と運営・メンテナンスに関する講義を行いました。また、ベトナムのインフラ整備状況を踏まえて国営公園の改築、ダム建設、営繕及び駅周辺の再開発事業などの視察を行いました。

今後、ベトナムの調査方法、調査計画を改善する為に検討・適用する予定。」などのコメントが寄せられました。



近畿地方整備局

SATREPS プロジェクト「食と環境の安全・安心を実現するハイテク簡易オペレーション分析デバイスの開発と人材育成」のオープニングミーティングを実施



プロジェクトメンバー集合写真

2023年10月25日、ベトナム国家大学ハノイ校自然科学大学にて、SATREPS*プロジェクト「食と環境の安全・安心を実現するハイテク簡易オペレーション分析デバイスの開発と人材育成」のオープニングミーティングが開催されました。ベトナムでは、急速な発展による環境汚染や食品汚染が社会問題となっており、その解決に向けて、本プロジェクトでは、実際の都市環境の状況を把握するための分析技術とデータ解析の精度向上、そしてこれらの業務を担う人材の育成に貢献することが期待されています。

本会議には日越全てのプロジェクト参加機関からオンライン含めて出席があり、プロジェクトの5つの課題における各機関の担当と、実施方法などの確認が行われました。

プロジェクト紹介 HP: <https://vietnam-satreps.w.waseda.jp>

*SATREPS : Science and Technology Research Partnership for Sustainable Development (地球規模課題対応国際科学技術協カプログラム)

副大臣級・同候補者級幹部(National Leaders)対象の本邦研修を実施

2023年10月15日から26日にかけて、「戦略的幹部研修プロジェクト」の枠組みで、副大臣級・同候補者級の幹部行政官計14名を対象に、東京、金沢、富山にて計12日間の本邦研修を実施しました。

日本側協力機関として、政策研究大学院大学(GRIPS)及び一般財団法人日本国際協力センター(JICE)に受入いただき、グッドガバナンス、産業・経済構造の近代化、リーダーシップ・マネジメントの3本柱に加え、アジアの安全保障、行政におけるDX推進など参加者にとって関心の高いテーマについての講義と視察を実施しました。

富山県では、富山市スマートシティ構想についての講義を受講後、ライトレールなどの公共交通網を視察しました。また、「ベトナム政府高官との経済交流会議 in 富山」(GRIPS、北陸経済連合会、北陸環日本海経済交流促進協議会(北陸AJEC)共催)に参加し、日本企業によるベトナム国内へ

の投資を呼びかけるとともに、北陸の経済界関係者との意見交換を行いました。

本研修総括であるGRIPS横道清孝特別教授や金沢と富山のプログラム総括であるGRIPS工藤年博教授を筆頭に、各分野を代表する教授陣による講義と意見交換は研修参加者にとって有意義で、研修員から講師陣に多くの質問が寄せられました。

研修終了時のアンケートでは、「今回の研修を通じてベトナムの持続可能な発展にかかる政策立案には人材の質の向上が不可欠であると実感した」、「帰国後もJICA事務所と協力して政策策定に関するセミナーを開催したい」といった声もあり、研修全体としても高評価をいただきました。



ベトナム政府高官との経済交流会議 in 富山」での記念撮影

「水文気象情報の防災への活用」に関する オープンセミナー



オープンセミナーの様子。バナーや発表資料の表示には、大型液晶ディスプレイを使用しクリアな表示を実現した。

天然資源環境省(MONRE)の外局であるベトナム気象水文総局をカウンターパートとする技術協力プロジェクト「気象予測及び洪水早期警報システム運営能力強化プロジェクト」の活動の一環として、10月3日に国立会議場において水文気象情報の防災への活用に関するオープンセミナーを開催しました。セミナーにおいては、当技術協力プロジェクトの成果概要の発表の後、3名の方から基調講演を実施していただきました。最初の講演は、気象水文総局の予報管理部門から気象水文総局で実施している予報の現状と将来計画について話していただき、最近の精度向上と今後予定している観測や予報に関する新たな取り組みを紹介していただきました。2人目は、日本からの招待講演として気象業務支援センター相談役(前気象庁長官)から災害対策における気象水文機関の役割と題して、日本における気象情報の防災における活用推進の取り組みについて講演していただきました。3人目として、ベトナムテレビ(VTV)で水文気象情報の報道局から、VTVにおける水文気象情報や防災報道の実例や課題、今後期待する情報について紹介していただきました。

当日は、防災業務に関する各種機関、防災に関連する研究者、大学関係者、報道関係者など87名が参加しました。当日のセミナーの様子は、10を越える報道機関や地域の人民委員会のHP、MONREや気象水文総局のHPで紹介されると共にNational Defense TV局が作成する防災に関する30分番組の中に取り入れられ、JICAベトナム事務所や技術協力プロジェクトを実施している専門家、気象水文総局職員へのインタビューも番組に使用されました。水文気象情報の防災への活用においては、水文気象情報の精度向上と共に利活用する利用者への周知広報が重要であること、関係する各種防災機関や報道機関の連携が重要であることを認識したオープンセミナーとなりました。

http://qpv.vn/tin-video/vuon-xa-viet-nam-so-96-ta-chung-tay-phong-chong-thien-tai.html?zarsrc=30&utm_source=zalo&utm_medium=zalo&utm_campaign=zalo&gidzl=IL-M6Bomw4XEG9CMjARgHq90c1UI_U1724QRJVwhia09Gy0Py_deHrD5aKkY_xq14J3GZV3tafekBZfGG

赤枝健治(JICA長期専門家)、登内道彦(気象業務支援センター)